

# 検査値で何がわかるの？

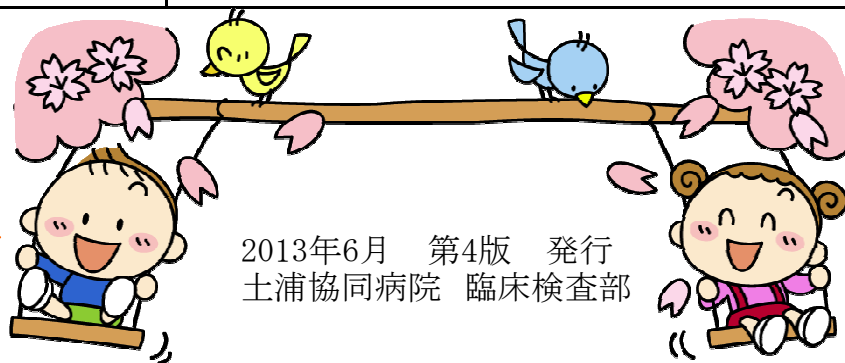
検査値は 性別・年齢・食事の影響を受ける項目もあります。  
 詳細は、主治医にご相談ください。

こんなことが  
 わかります！

	項目	略語	基準値	
血液学検査	血色素量	H b	男13.0~16.0 女12.0~15.0	貧血の有無や赤血球増多症を調べます。
	赤血球数	R B C	男400~520万 女350~500万	
	ヘマトクリット	H t	男40.0~52.0 女36.0~48.0	貧血や多血症の重症度をみます。
	MCV		89.0~99.0	赤血球の大きさをみます。
	MCH		29.0~35.0	個々の赤血球に含まれるヘモグロビン量を見ます。
	MCHC		31.0~36.0	個々の赤血球の容積に対するヘモグロビン量の割合です。
	白血球数	W B C	4000~9000	細菌などの異物が入ったり炎症が起きると増えます。
	血小板数	P l t	15.0~30.0万	出血を止める重要な役割をしており、極端に少なくなると、出血しやすくなります。
尿一般検査	尿蛋白		(-)	主に腎臓や膀胱の障害で出ます。正常人でも出ることがあります。
	尿糖		(-)	血糖が一定の濃度を超えると出てきます。食事の影響をうけます。
	尿潜血		(-)	腎臓や膀胱での炎症、結石、外傷などで出てきます。
	白血球反応		(-)	膀胱炎や腎盂腎炎などの尿路の炎症などがあると出てきます。
生化学検査	C反応性蛋白	C R P	0.3未満	炎症が起きていると高くなります。
	総蛋白	T P	6.5~8.2	感染症、膠原病、多発性骨髄腫などで高値を示し、肝機能障害、ネフローゼ症候群などで低値を示します。
	アルブミン	A L B	3.5~5.3	脱水などで高値を示し、栄養不良、ネフローゼ症候群などで低値を示します。
	尿素窒素 クレアチニン	B U N C R E	7~20 0.4~1.2	腎機能障害で高値を示します。
	尿酸	U A	男 3.6~7.0 女 2.3~7.0	痛風や各種腎疾患で上昇します。
	ナトリウム カリウム クロール	N a K C l	135~150 3.5~5.0 98~108	おもに腎機能障害、内分泌疾患などで異常値を示します
	カルシウム	C a	8.5~10.5	骨疾患、腎機能障害、腫瘍などで異常値を示します。
	マグネシウム	M g	1.8~2.4	慢性下痢や嘔吐などで低値に腎不全などで高値を示します。

項目	略語	基準値	
アルカリフォ スファターゼ	ALP	130～320	ALPは多くの組織に含まれている酵素ですが、胆道系の細胞に多いため、胆汁の流れが悪くなると高値を示します。また、骨にも多く含まれ骨疾患や成長期の子供でも高くなります。
γ-GTP	γGTP	40以下	胆石や炎症などによる胆道系の障害で上昇します。また、アルコールによる肝障害でも上昇します。
GOT	GOT	35以下	肝臓、心臓の筋肉(心筋)などの細胞が傷害されると高値を示します。
GPT	GPT	40以下	肝臓や胆道の疾患で上昇します。
LDH	LDH	100～250	肝細胞のほか心筋、骨格筋、血球などにも多く含まれていてそれぞれの細胞の破壊により値が上昇します。
アミラーゼ	AMY	33～120	膵疾患・おたふくかぜ(耳下腺炎)などで高値を示します。
クレアチンキ ナーゼ	CK	160以下	急性心筋梗塞、筋ジストロフィーなどの病気以外に筋肉運動などでも上昇します。
総ビリルビン	T-Bil	0.2～1.2	肝機能が悪くなるとビリルビンが高値になり皮膚が黄色くなる黄疸という症状が出ます。
総コレステ ロール	T-Chol	130～219	多すぎると動脈硬化などの原因にもなります。
HDLコレス テロール	HDL-C	40～96	動脈硬化を防ぐ善玉コレステロールと呼ばれています。喫煙・肥満・運動不足・糖尿病などで下がります。
LDLコレス テロール	LDL-C	70～139	動脈硬化をおこす危険があるため、悪玉コレステロールと呼ばれています。
中性脂肪	TG	30～149	体内のエネルギーとして使われますが、多すぎると皮下脂肪のもとになります。食事の影響を受け食後に上昇します。
血糖	Glucose	70～109 (早朝空腹時)	糖尿病などで異常値になります。
グリコヘモグ ロビン	HbA1c	4.6～6.2(新 法)	血糖値が高いとこの値が高くなります。1～2ヶ月前の血糖値を反映します。
グリコアルブ ミン	GA	11～16	血糖値が高いと値が高くなります。1～2週前の血糖値を反映します。
TTT	TTT	0～4.0	肝機能障害のスクリーニング検査として使われます。高値の時は、肝臓の病気が疑われます。
ZTT	ZTT	4.0～12.0	

もらった結果に書いてある記号は、基準値より低いものが L 高いものが H です。



2013年6月 第4版 発行  
土浦協同病院 臨床検査部